新潟西部地域
「新之助」生育情報　No.1

令 和 6 年 5 月 30 日
巻農業普及指導センター

◎ 浅水管理で分げつ発生を促す
◎ めやすの茎数を確保したら速やかに中干しを開始

【5月30日の生育データ(指標値比較)】
草丈「短い」　　茎数「多い」　　葉数「並」

区分	調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本／㎡)		主幹葉数(L)	
			本年値	指標比%	本年値	指標比%	本年	指標差L
分施	巻(普及)	5月14日	19	73	84	140	4.2	−0.4
一発	巻	5月18日	21	81	72	120	3.5	−1.1
一発	岩室	5月11日	25	96	70	117	4.2	−0.4
一発	潟東	5月10日	20	77	79	132	5.1	0.5
一発	中之口	5月12日	24	92	65	108	4.7	0.1
一発	黒埼	5月10日	26	100	60	100	5.1	0.5
一発	にいがた西	5月11日	23	88	70	117	4.2	−0.4
全体平均		5月12日	23	87	71	119	4.4	−0.2
指標値		5月15日	26		60		4.6	
近年値		5月13日	23		96		4.7	

※調査地点：JA越後中央新之助研究会、JA新潟みらい「新之助」栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ
※近年値はH29からR5年までの平均値

【今後1か月の気象状況】

○ 新潟地方気象台の1か月予報(6/1～6/30)では、向こう1か月の気温は平年並、降水量も平年並の見込みです。今後、茎数は急増し、梅雨入りすると田面が乾きにくくなるため、中干しは遅れずに開始しましょう。

【今後6月10日頃までの管理ポイント】

○ 茎数が過剰とならないよう、めやすの茎数を確保したら、速やかに中干しを開始しましょう。

[中干し開始のめやす]
目標穂数の70%の茎数確保時　(茎数が280本/㎡、1株当たり18本の時)

○ ワキや表層剥離の発生が多いほ場は、2～3日落水し、根の健全化を図りましょう。

○ 前年に別品種を作付けしたほ場では、前年の漏生籾から発生した条間や株間のイネを確実に除去しましょう。

○ 補植用苗は、いもち病の伝染源となるので、速やかに撤去しましょう。